

平成27年第2回士別市議会定例会会議録（第4号）

平成27年6月26日（金曜日）

午後 1時30分開議

午後 2時35分閉会

本日の会議事件

開議宣告

諸般の報告

- 日程第 1 報告第 7号 出資団体の経営状況報告について（士別市農畜産物加工株式会社）
- 日程第 2 報告第 8号 出資団体の経営状況報告について（株式会社翠月）
- 日程第 3 報告第 9号 出資団体の経営状況報告について（羊と雲の丘観光株式会社）
- 日程第 4 議案第71号 平成27年度士別市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）
- 日程第 5 議案第72号 工事請負契約の締結について（いきいき健康センター新築建築主体工事）
- 日程第 6 議案第73号 工事請負契約の締結について（移動系防災行政無線デジタル化工事）
- 日程第 7 意見書案第4号 安全保障関連法案の慎重審議を求める意見書について
意見書案第5号 義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元、30人以下学級の実現を目指す教職員定数改善、就学保障充実など2016年度国家予算編成における教育予算確保・拡充に向けた意見書について
意見書案第6号 地方財政の充実・強化を求める意見書について
- 日程第 8 諮問第1号 人権擁護委員候補者の推薦について
- 日程第 9 推薦第1号 士別市農業委員会委員の推薦について

閉会宣告

出席議員（17名）

- | | | | | |
|-----|-----|--------|-----|-------|
| 副議長 | 1番 | 谷口隆徳君 | 2番 | 喜多武彦君 |
| | 3番 | 大西陽君 | 4番 | 村上緑一君 |
| | 5番 | 渡辺英次君 | 6番 | 谷守君 |
| | 7番 | 松ヶ平哲幸君 | 8番 | 岡崎治夫君 |
| | 9番 | 遠山昭二君 | 10番 | 山居忠彰君 |
| | 11番 | 十河剛志君 | 12番 | 出合孝司君 |
| | 13番 | 国忠崇史君 | 14番 | 井上久嗣君 |

15番 粥川 章 君
議長 17番 丹 正 臣 君

16番 斉藤 昇 君

出席説明員

市長	牧野 勇 司 君	副市長	相山 佳 則 君
総務部長(併) 選挙管理委員会 事務局 長	中 峰 寿 彰 君	市民部長	法 邑 和 浩 君
保健福祉部長	川 村 慶 輔 君	経済部長	金 章 君
建設水道部長	沼 田 浩 光 君	朝日総合支所長	藤 森 裕 悦 君

市立病院
事務局 長

三 好 信 之 君

教育委員会 委員 長	五十嵐 紀 子 君	教育委員 委員 長	安 川 登志男 君
教育委員 生涯学習部 長	菅 井 勉 君		

農業委員 委員 長	松 川 英 一 君	農業委員 事務局 長	小ヶ島 清 一 君
--------------	-----------	---------------	-----------

監査委員	吉 田 博 行 君	監査委員 事務局監査課 長	穴 田 義 文 君
------	-----------	------------------	-----------

事務局出席者

議会事務局 長	石 川 敏 君	議会事務局 総務課 長	浅 利 知 充 君
議会事務局 総務課 主査	前 畑 美 香 君	議会事務局 総務課 主事	粕 谷 幸 広 君

(午後 1時30分開議)

○議長(丹 正臣君) ただいまの出席議員は全員であります。

これより本日の会議を開きます。

○議長(丹 正臣君) ここで事務局長から諸般の報告をいたします。

○議会事務局長(石川 敏君) 御報告申し上げます。

本日の議事日程及び諸報告につきましては、印刷の上、お手元に配付のとおりでありますので、朗読を省略いたします。

以上で報告を終わります。

(朗読を経ないが掲載する)

1. 市長から送付された議案は次のとおりである。

議案第71号 平成27年度士別市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)

議案第72号 工事請負契約の締結について(いきいき健康センター新築建築主体工事)

議案第73号 工事請負契約の締結について(移動系防災行政無線デジタル化工事)

諮問第1号 人権擁護委員候補者の推薦について

2. 議会運営委員会から送付された議案は次のとおりである。

意見書案第4号 安全保障関連法案の慎重審議を求める意見書について

意見書案第5号 義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元、30人以下学級の実現を目指す教職員定数改善、就学保障充実など2016年度国家予算編成における教育予算確保・拡充に向けた意見書について

意見書案第6号 地方財政の充実・強化を求める意見書について

3. 議員から送付された議案は次のとおりである。

推薦第1号 士別市農業委員会委員の推薦について

4. 議長会の関係については次のとおりである。

(1) 全国市議会議長会第91回定期総会

イ. 開催日 平成27年6月17日

ロ. 開催地 東京都

ハ. 出席者 丹議長

ニ. 会議概要 事務報告の後、部会提出議案25件及び会長提出議案4件を審議し、役員改選を行い終了した。

5. 本会議に出席する説明員を次のとおり追加する。

総務課主幹兼
行政担当主査

岡崎 忠幸

建築課主幹兼
建築担当主査

峯垣 智剛

以上報告する。

平成27年6月26日

士別市議会議長 丹 正 臣

○議長（丹 正臣君） それでは、これより議事に入ります。

日程第1、報告第7号 出資団体の経営状況報告についてを議題に供します。

提案者の説明を求めます。牧野市長。

○市長（牧野勇司君）（登壇） ただいま議題となりました報告第7号 出資団体の経営状況報告について、地方自治法第243条の3第2項の規定により御報告申し上げます。

本報告は、士別市農畜産物加工株式会社の第20期営業年度における経営状況及び出資金の管理状況並びに第21期営業年度における事業計画及び予算についてであり、その概要を御説明申し上げます。

初めに、第20期営業年度の経営及び決算状況についてであります。

当期においても、主力の卵製品を中心に、地元農畜産物を原料としたバレイショやキャベツなどの加工製品について生産・販売が行われてきました。製品別の売り上げ状況として、バレイショ製品ではいももち、ジャーマンポテトなどを主力商品として20品目となっており、売り上げ数量は218.9トンで売上額は8,557万3,000円となりました。

キャベツ製品では、小さなねぎ焼きを中心として32品目で82トン、3,692万6,000円、卵製品では、錦糸卵などを主力商品として30品目で191.1トン、1億1,305万4,000円となったほか、その他の売り上げでは122万4,000円となったところです。

このことにより、売上額は売り上げ目標の2億5,980万円に対し91.1%の2億3,677万7,000円となり、その他営業外収益57万5,000円を含めた収入総額は2億3,735万2,000円となったところです。

次に、費用としては、売上原価が2億4,139万5,000円、販売費及び一般管理費で818万8,000円、営業外費用7,000円、法人税充当額が8万円で、支出総額は2億4,967万円となり、差し引き1,231万8,000円の当期純損失となりました。

このため、純資産としては、前期からの繰越利益剰余金のマイナス2,699万1,000円と当期の純損失1,231万8,000円を合わせますと繰越利益剰余金がマイナス3,930万9,000円となり、事業資金として管理されている本市の出資金1,000万円を合わせた株主資本はマイナス2,930万9,000円となったところです。

当期損失の要因として、売り上げ面では主力である卵製品のうち錦糸卵、キャベツ製品のねぎ焼きについて、消費税の引き上げによる影響で大口取引先からの受注が減少したことが挙げられます。

一方、費用面では、第1に原材料費の高騰や包材、運賃等の値上げが続き、あわせて主力製品の卵製品で使用する鶏卵が昨年を引き続きキログラム当たり年平均単価で27円上昇し229.6円となったため486万3,000円の支出増となったこと、第2に電気料金と運賃の値上げにより前

年に比べ269万8,000円の増加があったことが挙げられます。

次に、第21期営業年度の事業計画及び予算についてであります。

本年は事業開始から20周年を迎える節目の年となる中、ここ数年続いている経営不振を改善し、安定した会社経営を目指すことが求められています。現在、一部業界では景気回復の兆しが見られるものの、景気動向や国内需要などは依然厳しい状況下にある中で、前期までの損失を解消するため具体的な改善策を講じ経営の建て直しが必要であり、その1つとして、バレイショ製品では原材料や運賃、電気料等の値上げに対する売価の適正化を図り、加えて販売先の新規開拓の強化に努めることです。

2つ目には、主力である卵製品について売れ筋の錦糸卵やオムレツなどの更なる販売強化であります。

3つ目には、キャベツ製品では、主力製品であるねぎ焼きの中で嗜好性の高い小さなねぎ焼きや小さなチヂミなど、ニーズに応じた販売促進に努め、加えて外食や惣菜メーカー等への営業展開を強化するなど、新たな販路確保が重要な取り組みとなります。

これらの具体的な改善策を履行するに当たって、既存のラインにあわせて製造ラインを増設し、増産による生産体制の強化を図り、加えて作業員の勤務体系なども検証を行うとともに、適正在庫の確保が図られるよう管理・運営を行うことが必要です。

また、すぐる食品株式会社から営業総括部長を役員として派遣されている中で、全国的な販売網と市場性が確立されているキャベツ製品と卵製品を軸としながら、更なる売り上げ向上の取り組みが図られるものと考えています。

こうしたことにより地元の農畜産物を原料とした製品の生産・販売に努め、売り上げ目標の達成を目指すことで事業運営の安定化を図るとともに、地元生産者の所得向上にも寄与する施設として発展できるよう支援してまいります。

次に、収支計画についてですが、バレイショ製品やキャベツ製品、卵製品の販売などによる収入総額を2億4,406万円とし、これに要する費用は、売上原価、販売費及び一般管理費などで2億4,403万円を計上し、第21期営業年度の経常利益は3万円と見込んでいます。

以上申し上げ、士別市農畜産物加工株式会社の経営状況の報告といたします。 （降壇）

○議長（丹 正臣君） 質疑に入ります。

御発言ございませんか。松ヶ平議員。

○7番（松ヶ平哲幸君） 今の市長の報告の中で、実績という部分も含めてお話をいただきました。

私は、この実績を踏まえて、新年度、次期に係る計画についてお伺いをしたいと思います。

昨年の売り上げ実績が2億3,700万円、それに対する販売費及び一般管理費の経費ですが、実績として818万円です。今度、新しい計画では売り上げ2億4,200万円、実績を比較すると700万円プラスになるという、売り上げが上がるという計画なんですけれども、一般管理費も今度は998万円、約1,000万円ですから180万円上げているという計画になっています。電気料金云々の中という話もありますけれども、それは製造原価経費を見るとほとんど実績と変わ

っていないので、20年目に当たる計画の中で、ここ数年赤字も続いていますけれども、会社自体としてもしっかりと黒字に向けていくんだという意気込みがこの販売費及び一般管理費の計画の中から見えてこない。どうして実績からこんなに一般管理費が経費として上がるのか。そこから辺の全体的な流れ、1回お聞かせいただきたいと思います。

○議長（丹 正臣君） 井出経済部次長。

○経済部次長（井出俊博君） お答えいたします。

今の松ヶ平議員から御指摘のとおり、会社からの報告、事業計画の内容につきましては、お話のあったとおり、実績と比較しますとちょっと上がっているというような状況になっています。この計画につきましては、昨年の当初計画または今回の26年度の決算等々を勘案しながら新年度平成27年度の計画というふうな形で報告を受けております。

当然、今御指摘のように2年続けての赤字というような中身で、この一般管理費がこのような状況で今年度も推移するというふうには考えておりませんで、当然行政側といたしましても、この一般管理費の部分については経費の節減等を十分に図っていただいて、予算はこのようにさせていただいておりますが、これについては執行の段階で十分経費を節減した上で決算に結びつけていきたいというふうに考えております。

以上です。

○議長（丹 正臣君） 金経済部長。

○経済部長（金 章君） この会社は特に加工施設でありますので、松ヶ平議員おっしゃる一般管理費の関係についても当然あるんですけれども、ウエートはどうしても製造原価のほうだというふうになっております。製造原価につきましては、光熱費あるいは動力費については、電気料金アップだとか、そういった部分を若干、あるいは運送料のアップだとかと見込んでおりますけれども、全体的には経費の節減ということで、製造原価については実績よりも若干圧縮した形で、収支均衡が図れるような形で会社として運営していきたいということでもあります。

以上です。

○議長（丹 正臣君） 松ヶ平議員。

○7番（松ヶ平哲幸君） 新年度の事業計画でいくと差し引き3万円という黒字を出すということなんですけれども、今まで以上にこの一般管理費もしっかり行政としても確認しながら、しっかりした計画を立てることが最終的に実績につながってくると思いますので、そこら辺の管理も含めてぜひお願いをしたいと思います。

以上です。

○議長（丹 正臣君） ほかに御発言ございませんか。大西議員。

○3番（大西 陽君） 農産加工については、今期末で3,900万円の繰越欠損金という報告であります。資本金から見ると完全に債務超過の状態であるということでもあります。会計上、例えば減資をしてこの欠損金の圧縮を図るところまでいってしまうような、そんな内容に今なっているというふうに思いますので、今期の計画を見ても、先ほどありましたように利益が3

万円ということでもありますから、この繰越欠損金を圧縮するには相当この調子だと年数がかかるということもありますから、早い時期に根本的な経営改善計画をしっかりとつけてこの会社の運営に当たるべきだというふうに考えますけれども、その見解についてお伺いしたいと思います。

○議長（丹 正臣君） 金部長。

○経済部長（金 章君） 昨年、一昨年と大きな赤字となったわけでありまして。そういった部分でいけば、まずは今年度については収支均衡を図っていくということで、これは総販売元でありますすぐる食品とも連携を図りながら、そういった方向に持っていく、ラインも4ラインということで増やしましたんで、それに伴う製造能力がアップしていくということでもありますから、そういった部分といわゆる販売先の確保と両方がきちっとリンクできるような形で、特に加工食品につきましては半年なり4分の1サイクルで回ってくる仕事でありますから、大西議員のお話の中にもありましたとおり、先が見えるような形の中で改善計画をつくりながら、すぐる食品と一層連携を図ってまいりたいというふうに考えております。

以上です。

○議長（丹 正臣君） ほかに御発言ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（丹 正臣君） 御意見がなければ、以上で報告を終わることに御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（丹 正臣君） 御異議なしと認めます。

よって、報告第7号は報告を終わることにいたします。

○議長（丹 正臣君） 次に、日程第2、報告第8号 出資団体の経営状況報告についてを議題に供します。

提案者の説明を求めます。牧野市長。

○市長（牧野勇司君）（登壇） ただいま議題となりました報告第8号 出資団体の経営状況報告について、地方自治法第243条の3第2項の規定により御報告申し上げます。

本報告は、株式会社翠月の第18期営業年度の経営状況及び出資金の管理状況並びに第19期営業年度の事業計画及び予算についてであり、その概要を御説明申し上げます。

昨年から、スポーツ合宿センター士別イン翠月に加え、新たに朝日地域交流センター及び朝日農業者トレーニングセンターの指定管理者としての業務を担い、経営が進められてきました。初めに、第18期営業年度の経営及び決算の状況であります。

長引く景気の低迷により個人消費は依然として回復せず、加えて消費税の引き上げなどにより宿泊、宴会等において利用者が伸びなかったことから、年間を通して大変厳しい1年となりました。

売り上げ面では、レストラン部門は昨年終わりましたが、その他の部門の利用者が減少した

ため、売り上げは前年度を下回り、更に経費面では全てにおいて節減に努めたものの、電気代などの高騰の影響により昨年に続く赤字決算となったところです。

宿泊部門においては、顧客ニーズに応えるための快適な環境づくりや接客サービスの向上はもちろんのこと、利用拡大に向けた年末年始特別プランや御夫婦宿泊プランの設定などの取り組みもありましたが、全体としては利用者、客室稼働率ともに前期を下回りました。その内訳としては、実業団等の合宿関係者が増加したものの、自動車等試験関係者や一般客が減少したところです。

レストラン・宴会部門においては、地元の新鮮な食材を用いた季節感のある料理や士別サフオーグラムを活用したオリジナル料理の提供、日本酒と料理を楽しむ会やワインを楽しむ会などのイベントの開催などのほか、法事や会合等の仕出しにも力を入れた結果、前年に比べてレストラン部門の売り上げは増加しました。しかしながら、宴会部門では景気の低迷もあり売り上げは減少したところです。

入浴部門では、利用者のサービス拡大に向けた風呂の日の設定や各種特別プランの企画、ゴルフ場利用者などの顧客開拓などの取り組みもありましたが、利用者数は減少したところです。

朝日地域交流センター、朝日農業者トレーニングセンターにおいては、効率的な運営と利用拡大に向けて、両施設の連携と地域の観光資源の活用による取り組みのもと、両施設ともに売り上げは目標を下回ったものの、利用者は目標を上回りました。

営業実績としては、宿泊部門では1万3,296人の利用で、売上額は6,806万7,000円、宴会部門では2万1,286人の利用で、売上額は5,176万2,000円、入浴部門では現金での利用者数は2万6,883人で、売上額は1,563万2,000円、食堂部門の売上額は4,420万2,000円、特産品部門の売上額は471万5,000円、その他研修室貸付料等では5万9,000円、朝日地域交流センターでは、宿泊、食事、入浴利用者数は延べ4万3,074人で、売上額は3,849万8,000円、朝日農業者トレーニングセンターの売上額は14万2,000円、これら各部門を合わせた売上額は2億6,084万1,000円となり、営業外収入265万6,000円を加えた第18期営業年度における収入総額は2億6,349万7,000円となったところです。

次に、これに要した費用として、売上原価が5,772万2,000円、販売費及び一般管理費で2億1,062万5,000円、法人税等充当額が20万5,000円、支出総額は2億6,955万2,000円となり、差し引き605万5,000円の当期純損失となりました。

なお、本市の出資金1,000万円については、本事業資金として適正に管理されているところです。

次に、第19期営業年度の事業計画及び予算についてであります。

今期は経営改善プランに沿って、顧客ニーズに応えるサービスの提供のほか、インターネットを活用した積極的な営業展開も計画しており、また、朝日地域交流センター及び朝日農業者トレーニングセンターの運営に当たっても、翠月との連携強化を図りながら、利用拡大により経営改善を図る方針となっています。

事業計画としては、実業団の合宿及び自動車等試験関係者の利用増を図ることを初め、家庭行事に伴う家族や親戚の宿泊、同窓会、クラス会などの宿泊プランの充実のほか、市内で開催される各種大会参加者の宿泊先としての利用拡大を基本としています。

更に、サフォーク料理やランチメニューの充実、地元食材を活用した新鮮でおいしい料理の提供のほか、年末年始特別企画などの強化、季節に応じた魅力あるプランや各種イベントについても計画されているところです。また、毎月の風呂の日の継続実施や入浴券と食事やパークゴルフとのセットプランなど、新たな特別プランの企画も予定されています。

一方、朝日地域交流センターについては、入浴利用やスポーツ、文化合宿などで地元住民はもとより道内外からも広く利用されている中で、閑散期の入浴客を対象にしたイベントやおいしい食事の提供など、日帰り客の増加に向けた取り組みについても計画されています。

また、朝日農業者トレーニングセンターについては、地域のスポーツ振興と合宿者の利用増を図るなど、地域交流センターとの一体的な管理・運営を基本としています。

支出・収支面では、仕入れ原価と売価の見直しを図り、効率的な人員配置とするなど支出全般にわたってのコスト低減と接客マナーとホスピタリティの向上を図りながら、多くの利用者に親しまれる施設運営と安定した会社運営を目指すことが求められています。

まず、収入であります。基本となる翠月の利用者を8万5,200人と見込み、その売上額と指定管理料収入などを含め1億9,419万円を計上、朝日地域交流センター、朝日農業者トレーニングセンターの利用者を4万人と見込み、その売上額と指定管理料収入などを含め7,753万円を計上、全施設の総収入額を2億7,172万円と見込んでいるところです。

これに要する費用としては、翠月、朝日地域交流センター及び朝日農業者トレーニングセンターの売上原価、販売費及び一般管理費を合わせて2億7,172万円と見込んでいるところです。

以上申し上げ、株式会社翠月の経営状況の報告といたします。（降壇）

○議長（丹 正臣君） 質疑に入ります。

御発言ございませんか。十河議員。

○11番（十河剛志君） 私は、3月の予算のときにも何点か御質問させていただきました。

そのときは、仕入れの面から誰かコンサルを入れて経営改善をしてはどうかという話もさせていただきました。その中で、今年は3年の経営改革プランを立てて翠月を抜本的に立て直していくというお話をさせていただきました。それで、その経営改革プラン、それが株主総会でも株主の皆さんにも示されていないようですが、この経営改革プランは役員の皆さんだけでも、株主とかには示されないのか、その辺ちょっとお聞きしたいと思います。

○議長（丹 正臣君） 岡崎商工労働観光課長。

○商工労働観光課長（岡崎浩章君） お答えいたします。

経営改革プランにつきましては、会社経営の戦略となるものでございますので、株主様等への公表については差し控えさせていただいております。

以上でございます。

○議長（丹 正臣君） 十河議員。

○11番（十河剛志君） でも、株主総会で、株主の皆さんは一番赤字で損をしているというか、一時30万円近かったやつが今十二、三万円になっていますよね。一番被害をこうむっているのは株主の皆さんなんで、その改革プランの中身、詳しい数字を示すんでなくても、この部分をどうするという部分は一応形として示したらどうかと思うんですが、いかがですか。

○議長（丹 正臣君） 井出次長。

○経済部次長（井出俊博君） 私からお答えします。

今の御指摘のとおり、ある程度その目標となるものの柱となるようなものについては、当然株主の皆さんにもお知らせすべきだというふうに考えておりますので、今後はそのような形で報告ができるよう、会社のほうと御相談してまいりたいというふうに考えております。

以上です。

○議長（丹 正臣君） ほかに御発言ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（丹 正臣君） 御発言がなければ、以上で報告を終わることに御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（丹 正臣君） 御異議なしと認めます。

よって、報告第8号は報告を終わることにいたします。

○議長（丹 正臣君） 次に、日程第3、報告第9号 出資団体の経営状況報告についてを議題に供します。

提案者の説明を求めます。牧野市長。

○市長（牧野勇司君）（登壇） ただいま議題となりました報告第9号 出資団体の経営状況報告について、地方自治法第243条の3第2項の規定により御報告申し上げます。

本報告は、羊と雲の丘観光株式会社の第24期営業年度の経営状況及び出資金の管理状況並びに第25期営業年度の事業計画及び予算についてであり、その概要を御説明申し上げます。

初めに、第24期営業年度の経営及び決算の状況であります。

当期は、集客の安定化を目指し、役職員一丸となって営業活動が進められてきたところです。

また、本年のひつじ年に向けて、レストラン、売店のリニューアル工事を昨年10月から本年3月末までの工期で実施したところであり、この5カ月半の間は休業することとなったため、レストランは売り上げが減少しましたが、夏場の利用増により売店、バーベキューハウスは売り上げ増となりました。

士別産羊肉販売については順調に売り上げ増となりましたが、サイクリングターミナルでは宿泊、宴会、食事、更にはつくも青少年の家の調理委託の減少により売り上げ減となりました。

一方、消費税の引き上げ、光熱費の高騰、更に、円安による仕入れ価格高騰などもありましたが、3部門合わせて利益の確保がなされたところです。

まず、羊飼いの家においては、実質的な営業日数が短くなったものの、首都圏旅行エージェントへのプロモーション活動の成果もあって、新たな観光ツアーによる利用者増に結びついたことや、ふるさと応援寄附金によるメロンや野菜の受注増、あるいは宴会の利用増によりバーベキューハウス及び売店の売上げが前年を上回る実績となりました。

サイクリングターミナルでは、寒冷地テスト関係者や合宿者、工事関係者の利用が減少したことにより食事部門の減少があり、加えて宴会の利用も減少したところです。また、つくも青少年の家の調理委託についても減少したため、売上げは前年を下回ることとなりました。

世界のめん羊館では、入館者、餌やり体験者ともにほぼ前年同様の利用実績でありましたが、羊肉販売においては引き続き市内流通分の一元集荷を担い、加えて市外の安定的な販路の確保により売上げは前年実績を上回りました。

各部門別の営業実績について、羊飼いの家レストランでは1万2,159人の利用で、売上額は1,659万7,000円、バーベキューハウスでは6,737人の利用で、売上額は2,032万3,000円、売店部門では6,661人の利用で、売上額は900万5,000円、サイクリングターミナルでは1万59人の利用で、売上額はつくも青少年の家を含めて2,373万8,000円、世界のめん羊館では1万1,088人の利用で、売上額は1,844万円となりました。これら総売上額は8,810万3,000円となり、このほか、施設の指定管理料収入等で5,565万2,000円、営業外収入116万6,000円を含めまして、第24期営業年度における収入総額は1億4,492万1,000円となったところです。

次に、これに要した費用であります。売上原価が3,622万5,000円、販売費及び一般管理費で1億753万5,000円、このほか、法人税等充当額が27万2,000円で支出総額1億4,403万2,000円となり、差し引き88万9,000円の当期純利益となりました。

なお、本市の出資金2,500万円については、本事業資金として適正に管理されているところです。

次に、第25期営業年度の事業計画及び予算についてであります。

今期も、本市観光の拠点として、観光面での重要性を踏まえ、おもてなしの心や魅力づくりを基本にイベントなどにより集客拡大を目指し、健全な運営に努めることを方針としています。

羊と雲の丘一带の観光施設の再整備に関しては、市民による検討プロジェクトの提言等をもとに、羊飼いの家の改修を初め、ウッドテラスの配置や今後実施する周辺遊歩道の花壇整備、ラベンダー園の造成など環境整備を順次進めているところです。また、景観・食・体験などの魅力を発信し、国内外からの観光ツアーや個人旅行者を誘致するためのプロモーション活動も継続しています。

こうした中で、羊飼いの家部門では、リニューアル効果を十分に発揮するためにも新たな気持ちで営業活動に取り組み、土別産羊肉を中心に旬の地元農産物を活用したオリジナル料理の開発を進めるとともに、土別産羊肉ジンギスカンや利用客から評価の高い特製ジンギスカンの販売促進に努める必要があります。

また、各種ツアーについては、土別ならではの体験や食、おもてなしを実践し、旅行雑誌な

どへの広告やクーポン掲載によるPR活動を進めることが必要であり、ホームページによる情報発信や旅行エージェントなどへのプロモーション活動も積極的に取り組み、顧客の拡大を図ることが必要です。更に、クリスマスパーティーや関係団体との連携によりイベントなどを実施し、観光客や市民の方々に親しんで利用いただける施設となるよう一層努力することが重要です。

サイクリングターミナル部門においては、誘致企業の試験研究や合宿など定期宿泊者の一層の誘致を初め、食事・宴会・弁当など料理全般について、その献立等に工夫を凝らすとともに、仕入れ原価の低減に努める一方、きめ細かい営業活動も推進しながら、顧客の定着化と更には新たな利用客の確保・拡大に努めることが必要です。

世界のめん羊館部門では、シーブドックショーや毛刈りショーの実演、団体ツアーの際に実施しているトラクター乗車体験、子羊の授乳、見学、スノーモービルランドなどの体験観光を実施するとともに、めん羊工芸館くるるんとの協力連携、更には子羊との触れ合いができるスペースの提供など、入館者の拡大を計画しています。

このほか、士別サフォークラムの地域ブランドを一層高めるため、市内生産農家と一体となって適正な飼育と管理に努め、優良なサフォーク羊の安定生産と計画的な頭数確保が重要と考えています。

次に、予算についてですが、収入としては、羊飼いの家、サイクリングターミナル、世界のめん羊館の利用客を総数で5万5,700人と見込み、収入総額ではこれら各施設の売上額と指定管理料収入などを含め1億4,496万1,000円を計上、これに要する費用として、売上原価、販売費及び一般管理費を合わせ1億4,440万円を計上し、当期利益を56万1,000円と見込んでいます。

以上申し上げ、羊と雲の丘観光株式会社の経営状況の報告といたします。（降壇）

○議長（丹 正臣君） 質疑に入ります。

御発言ございませんか。国忠議員。

○13番（国忠崇史君） ただいまの報告では、昨年度90万円ほどの黒字になったということで何よりだと思えるんですけども、私はちょっとこのサイクリングターミナルについて取り上げたいと思います。

どうもこの営業数字を見ていると、サイクリングターミナルの売り上げと計画、計画が2,830万円の売り上げの予定のところ2,373万円。大体8割ぐらいの売り上げですね。つまり2割ぐらい未達になると思うんですけども、そしてまた、更にサイクリングターミナル単体とつくも青少年の家とに分けて売り上げ書いてありますが、サイクリングターミナル、大体、私の理解では年間2,000万円ぐらいの売り上げをキープしていたと思うんですけども、今回1,909万三千幾らという数字になっています。その要因として市長は壇上からおっしゃったのが、つくも青少年の家の調理の委託が減ったりしたというようなことをおっしゃっていました。

このサイクリングターミナルというものなんですけれども、全国に幾つかあると思うんです

よね。もともと競輪なんかである収益を利用してつくられたというふうには聞いているんですけども、ちょっとその辺、サイクリングターミナルができた経緯だとか、それからもとの目的というところについて市のほうで答えを願いたいんですが、お願いします。

○議長（丹 正臣君） 徳竹商工労働観光課主幹。

○商工労働観光課主幹（徳竹貴之君） お答えいたします。

士別市のサイクリングターミナルにつきましては、昭和54年2月に、青少年の健全育成と体育の振興を図ることを目的に、日本自転車道路協会からの補助を受けながら設置をしております。

以上です。

○議長（丹 正臣君） 国忠議員。

○13番（国忠崇史君） 全国何カ所とか全道何カ所という、その箇所数なんかはどの程度ですか。

○議長（丹 正臣君） 徳竹主幹。

○商工労働観光課主幹（徳竹貴之君） 申しわけございません。

箇所数につきましては、日本サイクリング協会、こちらのほうに現在北海道としまして加盟をしている施設についてはないということになっております。

以前、北海道ブロックサイクリングターミナル連絡協議会というものがございまして、昭和60年には士別市、夕張市、滝川市、苫小牧市、音更町、占冠村の6市町村が加盟をして設置をされてきております。その後、阿寒町ですとか東神楽町、網走市等々が加わりましたが、その後さまざまな地域の理由により閉鎖、または管理がえと申しますか、サイクリングターミナルという意味合いではなくて公園の管理施設等々の名称となりまして、サイクリングターミナルとしての目的を実施しているのは、現在、士別市のほか、釧路市の阿寒町の2つの施設というふうになっております。

以上です。

○議長（丹 正臣君） 国忠議員。

○13番（国忠崇史君） 要は、聞きたかったことは、サイクリングターミナルというからには、やはり自転車で旅行してきて泊まると、あるいは休憩すると、そういうような利用をある程度前提としていたんじゃないのかということなんですけれども、その点はよろしいですか。

○議長（丹 正臣君） 徳竹主幹。

○商工労働観光課主幹（徳竹貴之君） お答えいたします。

サイクリングターミナルの26年度におきます利用者の実績でありますけれども、全体で2,216名の宿泊がございまして。そのうち、合宿関係者、寒冷地試験等の関係者、工事関係者等々を除く、いわゆるファミリー層、一般の利用客の方々の人数につきましては125人の利用ということで、全体の5.6%の利用というふうになっておりますが、このうち、実際に自転車のレンタル等々の利用者につきましては、ほとんどの方々が士別のサイクリングターミナルに見える交通手段につきましてはマイカー等での方法がほとんどでございまして、ただ、買い物、

散歩を含めまして、中にはサイクリングターミナルから自転車を借りて周辺散策をするという方々がいるというふうに確認をしております。

以上です。

○議長（丹 正臣君） 国忠議員。

○13番（国忠崇史君） 自転車で旅行してきてターミナルに泊まってもいいし、また、ターミナルにどんな手段で来てもいいので、そこで置いてある自転車を借りて士別市内の観光に行くと、そういうので全然構わないというか、自転車を何につけ利用しているわけですから、そういうふうに行っていくということでもいいと思うんですけども、やはりサイクリングターミナルという名前からして、そういう利用が一応目的とされていたと思うんです。もちろん、そうじゃない宴会とか宿泊とかしてはだめとかいうことじゃなくて、もともとの意味合いがそうだったと思うんです。

それで、実はおとといの一般質問で、要は、北海道上川振興局で、サイクリストだとか、特にサイクリング盛んな台湾の人の利用ということで、和寒から士別へのサイクリングモデルコースが示されていたと。ぱらぱら見ていると一応載っているんですよ、サイクリングターミナル。でも、どっちかというとお勧め的に載っているのが翠月のほうで、やはり自転車で来たからサイクリングターミナルにどうぞ泊まってくださいというふうにはなっていないなと私は思ったんですよ。この辺については、市としてはこれからそういう、個人客でも何でもいいんですけども、自転車で北海道のパンフレットを見てきた人を、ぜひサイクリングターミナルにどうぞ、自転車を置く場所もありますからみたいなふうに誘導していくつもりはありますか。

○議長（丹 正臣君） 岡崎課長。

○商工労働観光課長（岡崎浩章君） お答えいたします。

パンフレットでは翠月が主に案内されているということですが、客室のクオリティーといいますか、トイレの配置ですとかお風呂の状態ですとか、今、旅行者にとって快適なのが翠月ということになっております。サイクリングターミナルにつきましては老朽化が激しく、設備あるいはレイアウトも非常に一昔前の設備ということで、市としても、自転車の方はサイクリングターミナル中心にお使いくださいということにはなかなかならない状況でございます。

今後につきましても、いろいろ検討しながら進めてまいりたいと思います。

以上でございます。

○議長（丹 正臣君） 国忠議員。

○13番（国忠崇史君） 最後に1つだけお聞きしますけれども、これから水郷公園の再開発もするというので、以前、一般質問の答弁の中で青少年の家を一応なくしていくんだという話もありました。私が思うには、サイクリングターミナルという名前だと、サイクリストの人がそんなんだったら行こうと思う気持ちになると思うんですけども、ただ、そういう受け入れ体制ないということであれば名前変えたらどうかと思うんですけども、そのサイクリングター

ミナルという名前自体ちょっと再検討したほうがいいんじゃないですか。自転車で来るんだっ
たら翠月というふうになるのであればね。その辺はどうか。

○議長（丹 正臣君） 相山副市長。

○副市長（相山佳則君） サイクリングターミナルにつきましては、今、課長のほうから老朽化と
いうお話もございましたけれども、ただ、そのときそのときのお客様の話を聞きながら適宜直
していつているという事実もございます。実際活用も多いというわけでございますので、今後
も、今年は今までの活用を基本にしていきたいと。

それと、今、公共施設マネジメント計画を発注したところでございますけれども、自治体運
営改革会議の中でもつくも青少年の家とサイクリングターミナルの活用をどうしていくかとい
ったことを話し合ってきた経過もございますし、それを公共施設マネジメント計画の中にも考
え方を織り込んでいきたいというふうに考えております。

いずれにしても、今までのように両施設をそれぞれという使い方は難しいというふうに考
えておりますので、その考えを進めて、あそこ一帯をどうするかといった、その方向性の中で今
お話にありました名称についても、今現在、サイクリングターミナルと言いますと市民の方が
あそこだとすぐわかりますので、名称を変えることによって混乱するということにもなりま
すけれども、その方向性を出す中で、その方向性と一体的に名称をどうするかということも市
民の方、あるいはその知り合いの方にもお伝えしながら検討していかなければならないとい
うふうに考えております。

以上です。

○議長（丹 正臣君） ほかに御発言ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（丹 正臣君） 御発言がなければ、以上で報告を終わることに御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（丹 正臣君） 御異議なしと認めます。

よって、報告第9号は報告を終わることにいたします。

○議長（丹 正臣君） 次に、日程第4、議案第71号 平成27年度士別市介護保険事業特別会計補
正予算（第2号）を議題に供します。

提案者の説明を求めます。相山副市長。

○副市長（相山佳則君）（登壇） ただいま議題となりました議案第71号 平成27年度士別市介護
保険事業特別会計補正予算（第2号）について、その概要を御説明申し上げます。

今回の補正は、平成26年度の保険給付費の確定により、給付費に充てるべき介護保険料に余
剰が生じたため、介護給付費準備基金の積立金として3,795万2,000円を計上したほか、年金か
ら特別徴収を行った介護保険料の還付未済金について7万9,000円を計上し、更に、超過交付
となった介護給付費に関する国庫負担金、補助金などの返還金1,114万7,000円を計上しました。

なお、これらに要する財源については、道支出金及び繰越金等の特定財源をもって収支の均衡を図った次第です。

よろしく御審議のほどお願い申し上げます。（降壇）

○議長（丹 正臣君） 質疑に入ります。

御発言ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（丹 正臣君） それでは、これより採決に入ります。

本案については、原案のとおり決することに御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（丹 正臣君） 御異議なしと認めます。

よって、議案第71号は原案のとおり可決されました。

○議長（丹 正臣君） 次に、日程第5、議案第72号 工事請負契約の締結についてを議題に供します。

提案者の説明を求めます。川村保健福祉部長。

○保健福祉部長（川村慶輔君）（登壇） ただいま議題となりました議案第72号 工事請負契約の締結について、その概要を御説明申し上げます。

本工事請負契約は、いきいき健康センター新築建築主体工事について、6月9日、市内企業を対象とした制限付一般競争入札に付した結果、大野土建・田中工業・久光組特定建設工事共同企業体が4億1,418万円をもって落札し、同日付で仮契約を締結したところです。

この工事請負契約の締結に当たり、地方自治法第96条第1項第5号及び士別市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例に基づき、議会の議決を求める次第です。

なお、本件の入札における落札率は98.79%であり、本特定建設工事共同企業体の協定書に基づく出資割合は、大野土建株式会社40%、株式会社田中工業30%、株式会社久光組30%となっています。

また、いきいき健康センターについては、平成28年7月の完成を予定しているところです。

よろしく御審議のほどお願い申し上げます。（降壇）

○議長（丹 正臣君） 質疑に入ります。

御発言ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（丹 正臣君） それでは、これより採決に入ります。

本案については、原案のとおり決することに御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（丹 正臣君） 御異議なしと認めます。

よって、議案第72号は原案のとおり可決されました。

○議長（丹 正臣君） 次に、日程第6、議案第73号 工事請負契約の締結についてを議題に供します。

提案者の説明を求めます。中峰総務部長。

○総務部長（中峰寿彰君）（登壇） ただいま議題となりました議案第73号 工事請負契約の締結について、その概要を御説明申し上げます。

本工事請負契約は、移動系防災行政無線デジタル化工事について、6月25日、指名競争入札に付した結果、宮武・共工特定建設工事共同企業体が1億8,284万4,000円をもって落札し、同日付で仮契約を締結したところです。

この工事請負契約の締結に当たり、地方自治法第96条第1項第5号及び土別市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例に基づき、議会の議決を求める次第です。

なお、本件の入札における落札率は98.90%であり、本特定建設工事共同企業体の協定書に基づく出資割合は、宮武電機株式会社55%、共工電気工事株式会社45%となっています。

また、この工事は平成28年3月の完成を予定しているところです。

よろしく御審議のほどお願い申し上げます。（降壇）

○議長（丹 正臣君） 質疑に入ります。

御発言ございませんか。遠山議員。

○9番（遠山昭二君） ちょっとお聞きしたいんですけども、この電気工事の2社はランク付はどの程度なんですか、お聞きしたいと思います。

○議長（丹 正臣君） 中館総務部次長。

○総務部次長（中館佳嗣君） 本工事のJVを構成している2社につきましては、電気工事の工事種別になりまして、それぞれAランクに位置づけられております。

以上です。

○議長（丹 正臣君） ほかに御発言ございませんか。斉藤議員。

○16番（斉藤 昇君） この移動系の防災行政無線デジタル化工事なんだけれども、これを完成すると今までとどういふふうに大きく変わっていくのか。それは行政にとっても、あるいは市民にとってもどういふ影響をもたらすのか、この点だけ説明願いたいと思います。

○議長（丹 正臣君） 中峰総務部長。

○総務部長（中峰寿彰君） お答えいたします。

今回のデジタル化工事につきましては、まず、1つには消防等と消防救急等の無線、これらもデジタル化をしていくという、基本的に電波が非常に多い中で、これは国が、総務省が中心ですけれども、電波のデジタル化ということで周波数帯の制御ということが基本になっています。そうした中で、消防とあわせて、今回、防災行政無線、移動系ですけれども、これをデジタル化していくということでありまして、電波の届く範囲というのは若干アナログよりも狭くなる部分がある場合もありますが、こちらについてはそれを補完する形で基地局的な部分を整

備をするということでもあります。

そういった中で大きく変わっていくということではありませんけれども、電波の質といいますか、デジタル波ということの特徴が生かされるものというふうに考えております。また、今回、整備等合わせて国の補助金を受けながらということになっておりますけれども、大きな改善はありませんが、災害時にきちんとした形で電波が届くようになるものということで、電波の届くエリアについても調査をしながら今回再整備するということでは、きちんとどこまで電波が届くのかという調査も行いながらということでもありますので、防災上の安全性については高まるものというふうに考えているところです。

以上です。

○議長（丹 正臣君） 齊藤議員。

○16番（齊藤 昇君） こういう工事というのは地元の業者というのはほとんどこれには携わるということではなくて、どういうところが携わることになるのでしょうか。

○議長（丹 正臣君） 中館次長。

○総務部次長（中館佳嗣君） 今回、この入札に当たりましては、技術力の結集、それから安定的な施工を目指して共同企業体による入札ということにいたしました。

その入札に当たりましては、その共同企業体の中には市内の事業所が入ることという要件を設けた上で公募いたしまして、その上で5つの共同企業体が入札に参加をして、今回の落札に至ったということでありまして、それぞれこの工事については市内事業者についてもその施工になるというような考え方でございます。

以上です。

○議長（丹 正臣君） 齊藤議員。

○16番（齊藤 昇君） この2社が構成員なんだけれども、これは大体地元の業者にはこの総額の中からどのぐらいのお金が地元に入るというか、機械だとか何とか別にして、これについてはどんなふうになっていくのでしょうか。

○議長（丹 正臣君） 中峰部長。

○総務部長（中峰寿彰君） お答えいたします。

今回の移動系防災行政無線デジタル化工事につきましては、先ほども御説明申し上げましたとおり、また、今、担当次長から申し上げましたとおり、市内に事業所を有するところでの指名でございまして、今回の落札の先ほど申し上げましたように宮武電機とそれから共工電気、この2社によるJVということでもありますので、そういった中で、先ほど出資につきましては宮武電機が55%、そして共工電気45%ということを出資になっているわけですが、この中で工事を進めてまいりますので、基本的に地元の中でこれは基本的に受けていただきますから、その金についても入っていくということで考えております。

以上です。

○議長（丹 正臣君） ほかに御発言ございませんか。

(「なし」の声あり)

○議長(丹 正臣君) それでは、これより採決に入ります。

本案については、原案のとおり決することに御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(丹 正臣君) 御異議なしと認めます。

よって、議案第73号は原案のとおり可決されました。

○議長(丹 正臣君) 次に、日程第7、意見書案第4号 安全保障関連法案の慎重審議を求める意見書について、意見書案第5号 義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元、30人以下学級の実現を目指す教職員定数改善、就学保障充実など2016年度国家予算編成における教育予算確保・拡充に向けた意見書について及び意見書案第6号 地方財政の充実・強化を求める意見書について、以上3案件を一括議題に供します。

本案については提案者の説明を省略します。

質疑に入ります。

御発言ございませんか。

(「なし」の声あり)

○議長(丹 正臣君) それでは、これより採決に入ります。

本案については、原案のとおり決することに御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(丹 正臣君) 御異議なしと認めます。

よって、意見書案第4号から意見書案第6号までの3案件は原案のとおり可決されました。

○議長(丹 正臣君) 次に、日程第8、諮問第1号 人権擁護委員候補者の推薦についてを議題に供します。

提案者の説明を求めます。牧野市長。

○市長(牧野勇司君) (登壇) ただいま議題となりました諮問第1号 人権擁護委員候補者の推薦について御説明申し上げます。

本年9月30日をもって任期満了となる人権擁護委員について、林 廣志委員を再度候補者として、同じく任期満了となる種野秀憲委員の後任として、中山義隆氏を新任の候補者として推薦いたしたく、人権擁護委員法第6条第3項の規定により、議会の意見を求める次第です。

よろしく御審議のほどお願い申し上げます。(降壇)

○議長(丹 正臣君) 質疑に入ります。

御発言ございませんか。

(「なし」の声あり)

○議長(丹 正臣君) それでは、これより採決に入ります。

本案については、推薦に同意することに御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(丹 正臣君) 御異議なしと認めます。

よって、諮問第1号は推薦同意と決定いたしました。

○議長(丹 正臣君) 次に、日程第9、推薦第1号 士別市農業委員会委員の推薦についてを議題に供します。

お諮りいたします。

本年7月19日をもって任期満了となります農業委員について、農業委員会等に関する法律第12条第2号の規定による議会推薦の農業委員は3名とし、湯浅悦子さん、小野寺悦子さん、岡崎京子さんを推薦いたしたいと思います。

これに御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(丹 正臣君) 御異議なしと認めます。

よって、士別市農業委員会委員に湯浅悦子さん、小野寺悦子さん、岡崎京子さんの3名を推薦することに決定をいたしました。

○議長(丹 正臣君) 以上で、本定例会に付議されました案件の審議は全部終了いたしました。

平成27年第2回定例会は、これをもって閉会いたします。

御苦労さまでした。

(午後 2時35分閉会)

以上、本会議のてん末を記載し、その相違なきことを証するため、ここに署名する。

平成27年6月26日

士別市議会議長 丹 正 臣

士別市議会副議長 谷 口 隆 徳

署 名 議 員 粥 川 章

〃 齊 藤 昇

〃 喜 多 武 彦